

## 第4節 社会教育を充実する

### ■現状と課題（前期基本計画までの成果を踏まえて）

教育水準の向上や自由時間の増大などを背景として、心の豊かさや自分らしさの発見など豊かな市民生活を送ることへのニーズが高まりをみせているなか、社会教育は生涯を通じて、市民の多様な学習意欲を充たし、市民自らの資質を向上させていくことから行政が積極的にその機会や場の提供に努めることが求められています。幅広い世代が参加できる講座等を開催して参加者の増加を図っていますが、さらなる充実が必要とされています。

また、現在、国際化、高度情報化、少子高齢化など社会経済情勢の著しい変化の中で、さまざまな教育改革が進められており、大きな転換期を迎えています。このような時代の変化のなかで、とりわけ青少年の社会性や豊かな人間性を育み、家庭・地域社会・学校が連携し教育力の向上を行うため、平成19年度に図書館において蔵書20万冊を達成しました。今後についても、さらなる社会教育事業の拡充が求められています。

さらに、個人の尊厳と人権が尊重される社会の実現や、生涯にわたり楽しめる文化・スポーツ活動を通じた健康や生きがいづくりの取り組みが求められています。

### ■基本方針

- 市民が生涯にわたる多様な学習活動を主体的に行える生涯学習社会を実現するため、幅広い分野の生涯学習事業が推進されるまちをめざします。
- 市民の自発的な学習活動の促進に努めるとともに、国際理解、環境、情報や人権などの現代的課題に関する学習活動が推進されるまちをめざします。

### ■まちづくり指標

まちづくり指標名	説明	単位	現状値	5年後の目標	めざすべき目標
			(平成22年度)	(平成28年度)	
社会教育活動団体数	社会教育関係団体の登録数	団体	857	1,364	↑
生涯学習事業への参加者数	各種講座の延べ参加者数	人	2,652	5,224	↑
市立図書館・コミュニティセンター図書室における市民一人あたり図書等の貸出点数	総貸出点数／人口	点	7.6	7.8	↑

## ■主な施策の展開

### (1) 生涯学習社会の実現

幅広い分野を視野に入れた生涯学習事業の計画的な推進を図ります。

また、市民の自発的な学習活動の促進に努め、国際理解、環境、情報や人権などの現代的課題に関する学習活動を推進します。さらに、社会教育関係団体の自主性を尊重しながら、活動の活性化の促進に努めるとともに、一層の連携・協力を進めます。

### (2) 地域社会の教育力の向上

地域社会の教育力の向上を図るための学習活動を推進するとともに、学校週5日制の趣旨を踏まえ、学校および地域社会と連携した家庭教育の充実に努めます。地域でのさまざまな体験の機会を拡充するとともに、障がいのある子どもも、共に参加できるように努めます。さらに、その活動を通し、青少年の健全育成に努めるとともに、地域の交流を深め、誰もが安心・安全に暮らせる地域づくりを推進します。

また、各種講座の充実に努めるとともに、学習情報の提供を推進します。

### (3) 図書館等の充実

インターネットを利用した蔵書検索・予約システム等について、より市民に利用しやすいシステムとなるよう検討するとともに、図書館の蔵書20万冊を維持し、市民ニーズに合った図書を選書・更新することにより、図書館利用者へのサービスの充実に努めます。また、学校やボランティアグループなどとの連携をより一層深めるとともに、子どもの読書活動推進計画に基づき、子どもの読書活動を推進します。

また公民館については、そのあり方についての検討を行います。

## ■市民まちづくりワークショップからの提言（平成18年）

### 市民の役割（例示）

○各種講座、セミナーや地域で開催される行事などの学習機会を積極的に活用し、自ら意欲的に学習に取り組む。

## ■PR施策

### ○図書館蔵書20万冊達成

図書館は平成7年に約10万冊の蔵書をもって開館しました。

平成20年には目標の20万冊を達成し、併せて視聴覚資料（AV・DVD・CT）1万点についても達成しました。平成23年3月までの来館者数は、延べ約724万人、貸出点数は、延べ約662万点となり、図書館は、多くの市民の皆さんに利用されてきました。

今後は、図書の入れ替えを図りつつ、20万冊の蔵書を維持し、「市民に親しまれ役立つ図書館」をめざして、一層市民の皆さんの期待に応えていきます。



【城陽市立図書館】